

平成30年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年7月31日

上場会社名 株式会社FPG 上場取引所 東
 コード番号 7148 URL <https://www.fpg.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 谷村 尚永
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 久保出 健二 TEL 03-5288-5691
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第3四半期の連結業績（平成29年10月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第3四半期	16,464	△4.0	9,700	△14.4	9,426	△19.3	6,578	△18.5
29年9月期第3四半期	17,155	16.7	11,336	19.6	11,677	21.7	8,073	30.7

(注) 包括利益 30年9月期第3四半期 6,656百万円 (△19.6%) 29年9月期第3四半期 8,277百万円 (38.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第3四半期	72.97	72.81
29年9月期第3四半期	89.73	89.39

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第3四半期	72,302	28,260	37.3
29年9月期	82,799	25,624	29.5

(参考) 自己資本 30年9月期第3四半期 26,959百万円 29年9月期 24,385百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	0.00	—	45.80	45.80
30年9月期	—	0.00	—		
30年9月期(予想)				49.25	49.25

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年9月期の連結業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,701	12.5	14,753	10.0	14,928	8.9	10,313	7.6	114.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年9月期3Q	92,373,600株	29年9月期	94,623,600株
② 期末自己株式数	30年9月期3Q	2,185,782株	29年9月期	4,506,692株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年9月期3Q	90,143,891株	29年9月期3Q	89,973,501株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料9ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

平成30年9月期 第3四半期 決算概要	2
1. 当四半期決算に関する定性的情報	3
(1) 経営成績に関する説明	3
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	9
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	10
(1) 四半期連結貸借対照表	10
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	12
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	12
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	13
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	14
(セグメント情報)	15

平成30年9月期 第3四半期 決算概要

損益の状況

- タックス・リース・アレンジメント事業について、リース事業組成金額が前年同期に比べ大幅に増加し2,710億円となりました。また投資家からの出資金に対する需要が強く推移する中、出資金販売額は、第3四半期累計期間として過去最高の1,118億円となりました。売上高は、前年同期に比べ、高採算の船舶案件が減少したものの、大口のフルエクイティ案件を含む航空機案件が増加したこともあり、143億円となりました。またその他事業について、不動産関連事業及び保険仲立人事業が成長したこともあり、21億円となりました。
- 連結売上高は164億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は65億円となりました。現時点では、平成29年10月31日に公表いたしました、平成30年9月期連結会計年度の業績予想に変更はありません。

(単位：百万円)

	平成29年9月期 第3四半期	平成30年9月期 第3四半期	増減額	(予想) 平成30年9月期 連結会計年度
売上高	17,155	16,464	△690	23,701
タックス・リース・ アレンジメント事業	15,491	14,360	△1,131	20,726
その他	1,664	2,104	440	2,974
営業利益	11,336	9,700	△1,636	14,753
経常利益	11,677	9,426	△2,251	14,928
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	8,073	6,578	△1,494	10,313
一株当たり 四半期(当期)純利益	89円73銭	72円97銭	—	114円40銭
リース事業組成金額	196,279	271,062	74,783	387,468
出資金販売額	95,963	111,839	15,876	157,228

財政状態の状況

(単位：百万円)

	平成29年 9月末	平成30年 6月末	増減額
資産合計	82,799	72,302	△10,496
流動資産	79,213	68,492	△10,720
(現金及び預金)	12,602	20,593	7,990
(組成資産)	62,141	42,861	△19,279
(その他)	4,470	5,038	568
固定資産	3,585	3,809	223
負債合計	57,174	44,041	△13,132
流動負債	48,344	33,105	△15,238
(借入金・社債)	37,268	23,724	△13,543
(前受金)	3,831	2,471	△1,359
(その他)	7,244	6,910	△334
固定負債	8,830	10,935	2,105
純資産合計	25,624	28,260	2,635

資産合計

現金及び預金は205億円となりました。

積極的に組成を行った一方で、販売を進めたことから、組成資産は428億円となりました。このうち、商品出資金が156億円、航空機リース事業に係る信託受益権を計上する金銭の信託(組成用航空機)が173億円、組成用不動産が85億円となりました。

流動資産に含まれるその他の資産の合計が、50億円となりました。

負債合計

返済を進めたことから、流動負債の借入金・社債が、237億円となりました。

前受金は24億円となりました。流動負債に含まれるその他の負債の合計が、69億円となりました。

純資産合計

親会社株主に帰属する四半期純利益を計上した一方で、前期末配当を実施したこと等から、純資産が282億円となりました。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	平成28年9月期 第3四半期	平成29年9月期 第3四半期	平成30年9月期 第3四半期	増減額	増減率
売上高	14,696	17,155	16,464	△690	△4.0%
売上原価	1,914	2,128	2,494	365	17.2%
販売費及び一般管理費	3,306	3,689	4,269	579	15.7%
営業利益	9,475	11,336	9,700	△1,636	△14.4%
営業外収益	776	943	896	△46	△5.0%
営業外費用	659	602	1,171	568	94.3%
経常利益	9,592	11,677	9,426	△2,251	△19.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,178	8,073	6,578	△1,494	△18.5%

リース事業組成金額	319,169	196,279	271,062	74,783	38.1%
出資金販売額	81,553	95,963	111,839	15,876	16.5%

(注) 本項目における用語の説明

リース事業組成金額	組成したオペレーティング・リース事業案件のリース物件の取得価額の合計額
出資金販売額	出資金（オペレーティング・リース事業の匿名組合出資持分及び任意組合出資持分）について、リース開始日までに投資家へ私募により販売した額及びリース開始日時点で当社が一旦立替取得し、（連結）貸借対照表の「商品出資金」に計上したものについて、投資家へ譲渡により販売した額の合計額であります。なお航空機リース事業に係る信託受益権譲渡価額を含めております。

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、アメリカでの消費、設備投資ならびに雇用の増加、アジア新興国等における景気の持ち直し及びヨーロッパ圏での消費の増加などにより緩やかな回復が継続しました。一方、日本経済についても、雇用・所得環境の改善が続くなかで、海外経済や金融資本市場の変動の影響の不確実性はあるものの、緩やかな回復基調が継続しました。このような状況のもと、当社グループは、不動産関連事業、保険仲立人事業、M&Aアドバイザー事業の体制の強化等、中期経営計画に従い、各種施策の実施に努めました。

売上高

(単位：百万円)

	平成29年9月期 第3四半期	平成30年9月期 第3四半期	増減額
売上高	17,155	16,464	△690
タックス・リース・ アレンジメント事業	15,491	14,360	△1,131
その他	1,664	2,104	440

売上高は16,464百万円（前年同期比4.0%減）となりました。

(タックス・リース・アレンジメント事業)

リース事業組成金額は、積極的に組成を進めた結果、前年同期に比べ大幅に増加し、271,062百万円（前年同期比38.1%増）となりました。また、投資家からの出資金に対する需要が強ク推移する中、出資金販売額は第3四半期累計期間として過去最高の111,839百万円（前年同期比16.5%増）となりました。売上高は、前年同期に比べ、高採算の船舶案件が減少したものの、大口のフルエクイティ案件を含む航空機案件が増加したこともあり、14,360百万円（前年同期比7.3%減）となりました。

(その他事業)

売上高は、不動産関連事業及び保険仲立人事業が成長したこともあり、2,104百万円（前年同期比26.5%増）となりました。このうち、不動産関連事業の売上高は549百万円（前年同期比14.6%増）、保険仲立人事業の売上高は790百万円（前年同期比47.2%増）、M&Aアドバイザー事業の売上高は39百万円（前年同期比16.9%減）、FPG Amentum Limitedが行う航空機投資管理サービス事業の売上高は395百万円（前年同期比2.2%増）、証券事業の売上高は154百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

売上原価

売上原価は2,494百万円（前年同期比17.2%増）となりました。

これは主に、顧客紹介に係る手数料について、その総額が増加したことによるものであります。

販売費及び一般管理費

(単位：百万円)

	平成29年9月期 第3四半期	平成30年9月期 第3四半期	増減額
販売費及び一般管理費	3,689	4,269	579
人件費	1,918	2,297	378
その他	1,771	1,972	201

販売費及び一般管理費は4,269百万円（前年同期比15.7%増）となりました。

これは主に業容拡大等により、人件費が2,297百万円（前年同期比19.7%増）、その他の費用が1,972百万円（前年同期比11.4%増）となったことによるものであります。

(注) 人件費には、給料手当、賞与（引当金繰入額含む）、法定福利費、福利厚生費、退職給付費用、人材採用費等を含めております。

営業利益

上記の結果、営業利益は9,700百万円（前年同期比14.4%減）となりました。

営業外収益／営業外費用

(単位：百万円)

	平成29年9月期 第3四半期	平成30年9月期 第3四半期	増減額
営業外収益	943	896	△46
受取利息	456	210	△245
持分法投資利益	333	246	△87
その他	153	439	285
営業外費用	602	1,171	568
支払利息	217	484	267
支払手数料	377	410	33
その他	8	275	267

営業外収益は、896百万円（前年同期比5.0%減）となりました。これは主に、投資家から收受している商品出資金の立替利息が減少した結果、受取利息が、210百万円（前年同期比53.8%減）となったこと、関連会社に関する持分法による投資利益が、246百万円（前年同期比26.1%減）、組成用不動産に係る賃貸料が、234百万円（前年同期比175.4%増）となったことによるものであります。

営業外費用は、1,171百万円（前年同期比94.3%増）となりました。これは主に、支払利息が484百万円（前年同期比123.1%増）、支払手数料が410百万円（前年同期比8.9%増）、為替差損が194百万円（前年同期は、49百万円の為替差益）となったことによるものであります。

経常利益／親会社株主に帰属する四半期純利益

経常利益は、9,426百万円（前年同期比19.3%減）となりました。

上記の結果、法人税等を控除した親会社株主に帰属する四半期純利益は、6,578百万円（前年同期比18.5%減）となりました。

セグメント別業績

セグメント別業績の概況は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメント	平成29年9月期 第3四半期		平成30年9月期 第3四半期	
	売上高	セグメント利益 またはセグメント 損失 (△)	売上高	セグメント利益 またはセグメント 損失 (△)
F P G	16,265	11,756	14,945	9,011
F P G証券	148	△53	164	△51
その他	933	51	1,515	399
調整額	△192	△75	△160	66
合計	17,155	11,677	16,464	9,426

- (注) 1. 各セグメントの売上高及びセグメント利益またはセグメント損失は、セグメント間取引の消去前の金額を記載しております。
 2. セグメント利益または損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。
 3. 調整額はセグメント間取引消去額であります。

(F P G セグメント)

タックス・リース・アレンジメント事業の売上高が減少したこともあり、売上高は14,945百万円（前年同期比8.1%減）、セグメント利益は9,011百万円（前年同期比23.3%減）となりました。

(F P G 証券セグメント)

売上高は164百万円（前年同期比10.7%増）、セグメント損失は51百万円（前年同期比4.2%減）となりました。

(その他)

FPG Amentum Limitedの売上高が拡大していることもあり、売上高は1,515百万円（前年同期比62.3%増）、セグメント利益は399百万円（前年同期比675.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位 : 百万円)

	平成29年 9 月末	平成30年 6 月末	増減額
資産合計	82,799	72,302	△10,496
流動資産	79,213	68,492	△10,720
(現金及び預金)	12,602	20,593	7,990
(組成資産)	62,141	42,861	△19,279
(その他)	4,470	5,038	568
固定資産	3,585	3,809	223
負債合計	57,174	44,041	△13,132
流動負債	48,344	33,105	△15,238
(借入金・社債)	37,268	23,724	△13,543
(前受金)	3,831	2,471	△1,359
(その他)	7,244	6,910	△334
固定負債	8,830	10,935	2,105
純資産合計	25,624	28,260	2,635

(注) 1 組成資産には、商品出資金・金銭の信託(組成用航空機)・組成用コンテナ・組成用不動産を計上しております。

2 流動負債の(借入金・社債)には、コマーシャル・ペーパーを含めております。

資産の状況

資産合計は、72,302百万円(前年度末比10,496百万円の減少)となりました。その概要は以下のとおりであります。

(流動資産)

流動資産は、68,492百万円(前年度末比10,720百万円の減少)となりました。

- ・現金及び預金は、20,593百万円(前年度末比7,990百万円の増加)となりました。
- ・組成資産は42,861百万円(前年度末比19,279百万円の減少)となりました。このうち、未販売の匿名組合出資金を計上する商品出資金は、その組成を行う一方で、積極的に販売を進めたことにより、15,644百万円(前年度末比3,387百万円の減少)となりました。航空機リース事業に係る未販売の信託受益権を計上する金銭の信託(組成用航空機)は、その組成を行った一方で、積極的に販売を進めたことにより、17,336百万円(前年度末比14,013百万円の減少)となりました。また組成用不動産は、新規の不動産を取得した一方で、不動産小口化商品の販売を進めたことにより8,558百万円(前年度末比1,194百万円の減少)となりました。
- ・上記以外の流動資産は、5,038百万円(前年度末比568百万円の増加)となりました。

(注) 当社が組成する信託機能を活用した航空機リース事業案件は、当該リース事業を遂行する特定金外信託契約に係る受益権を投資家に譲渡するものであり、当社は、この法的実態を鑑み、未販売の当該受益権相当額を「金銭の信託(組成用航空機)」に計上しております。当該信託契約は、当社が信託の受託者である株式会社F P G信託に金銭を信託し、同社が当初委託者である当社の指図に基づき、当該金銭をもって航空機を購入したうえで、航空会社にリース・市場売却等を行うものであります。信託受益権を、投資家に譲渡することで、委託者の地位が承継されると共に、信託財産から生じる譲渡後の損益が投資家に帰属いたします。

(固定資産)

固定資産は、3,809百万円（前年度末比223百万円の増加）となりました。

- ・有形固定資産は、372百万円(前年度末比13百万円の増加) となりました。
- ・無形固定資産は、1,497百万円(前年度末比143百万円の減少) となりました。
- ・投資その他の資産は、1,939百万円(前年度末比354百万円の増加) となりました。

負債の状況

負債合計は、44,041百万円（前年度末比13,132百万円の減少）となりました。その概要は以下のとおりであります。

(流動負債)

流動負債は、33,105百万円（前年度末比15,238百万円の減少）となりました。

- ・借入金・社債は、23,724百万円（前年度末比13,543百万円の減少）となりました。これは主に組成資産の取得のための借入金の返済を進めたためであります。
- ・第4四半期以降に販売予定の商品出資金に係る手数料を含む前受金は、2,471百万円(前年度末比1,359百万円の減少) となりました。
- ・上記以外の流動負債は、6,910百万円(前年度末比334百万円の減少) となりました。
- ・機動的な資金調達が可能となるコミットメントライン契約及び当座貸越契約の総額は、当第3四半期連結会計期間末で、112,195百万円（前年度末比5,922百万円の増加）となりました。

(固定負債)

固定負債は、10,935百万円（前年度末比2,105百万円の増加）となりました。これは主に、借入金・社債が、10,679百万円（前年度末比2,094百万円の増加）となったことによるものであります。

純資産の状況

純資産合計は、28,260百万円（前年度末比2,635百万円の増加）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益6,578百万円を計上した一方で、前年度の期末配当4,127百万円を実施したことによるものであります。

自己資本比率は、当第3四半期連結会計期間末時点で37.3%（前連結会計年度末は29.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、平成29年10月31日に公表いたしました、平成30年9月期連結会計年度の業績予想に変更はありません。

(単位：百万円)

	平成30年9月期 (実績)	平成30年9月期 (予想)	
	第3四半期 連結累計期間 平成29年10月1日～ 平成30年6月30日	連結会計年度 平成29年10月1日～ 平成30年9月30日	
			前期比
売上高	16,464	23,701	12.5%
タックス・リース・ アレンジメント事業	14,360	20,726	9.3%
その他	2,104	2,974	41.4%
営業利益	9,700	14,753	10.0%
経常利益	9,426	14,928	8.9%
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	6,578	10,313	7.6%
リース事業組成金額	271,062	387,468	40.3%
出資金販売額	111,839	157,228	35.8%

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,602,763	20,593,047
売掛金	408,359	562,160
貯蔵品	11,268	8,423
商品出資金	19,031,725	15,644,345
金銭の信託 (組成用航空機)	31,349,396	17,336,346
組成用コンテナ	2,006,264	1,321,768
組成用不動産	9,753,618	8,558,855
繰延税金資産	506,562	693,527
差入保証金	1,345,321	1,611,668
その他	2,198,498	2,162,687
流動資産合計	79,213,778	68,492,830
固定資産		
有形固定資産	359,584	372,795
無形固定資産		
のれん	1,539,985	1,403,905
その他	100,969	93,426
無形固定資産合計	1,640,954	1,497,332
投資その他の資産		
繰延税金資産	32,819	10,820
その他	1,551,907	1,928,285
投資その他の資産合計	1,584,727	1,939,105
固定資産合計	3,585,267	3,809,232
資産合計	82,799,045	72,302,062
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,186,073	591,423
短期借入金	32,920,532	18,860,385
1年内返済予定の長期借入金	4,047,492	4,613,812
1年内償還予定の社債	300,000	250,000
未払法人税等	1,534,573	1,598,698
前受金	3,831,048	2,471,048
賞与引当金	312,660	192,664
受入保証金	2,063,813	2,086,851
その他	2,147,806	2,440,713
流動負債合計	48,344,000	33,105,596
固定負債		
社債	550,000	400,000
長期借入金	8,035,024	10,279,630
資産除去債務	90,474	104,275
その他	154,884	151,899
固定負債合計	8,830,382	10,935,805
負債合計	57,174,382	44,041,402

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,095,874	3,095,874
資本剰余金	3,095,543	3,095,543
利益剰余金	21,677,159	22,419,139
自己株式	△3,524,170	△1,708,570
株主資本合計	24,344,406	26,901,986
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	41,043	△35,844
その他有価証券評価差額金	△170	92,903
その他の包括利益累計額合計	40,872	57,059
非支配株主持分	1,239,382	1,301,614
純資産合計	25,624,662	28,260,660
負債純資産合計	82,799,045	72,302,062

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
売上高	17,155,843	16,464,961
売上原価	2,128,889	2,494,234
売上総利益	15,026,954	13,970,727
販売費及び一般管理費	3,689,995	4,269,948
営業利益	11,336,958	9,700,778
営業外収益		
受取利息	456,694	210,933
為替差益	49,515	—
不動産賃貸料	85,294	234,862
持分法による投資利益	333,300	246,178
その他	19,019	204,923
営業外収益合計	943,825	896,898
営業外費用		
支払利息	217,213	484,624
為替差損	—	194,449
支払手数料	377,322	410,946
不動産賃貸費用	6,431	33,966
その他	1,927	47,511
営業外費用合計	602,895	1,171,497
経常利益	11,677,888	9,426,179
特別利益		
固定資産売却益	3	—
特別利益合計	3	—
特別損失		
固定資産売却損	263	—
固定資産除却損	2,879	180
関係会社株式評価損	1,039	14,545
関係会社出資金評価損	204	—
特別損失合計	4,386	14,726
税金等調整前四半期純利益	11,673,505	9,411,453
法人税、住民税及び事業税	2,642,103	2,933,029
法人税等調整額	942,141	△188,320
法人税等合計	3,584,244	2,744,708
四半期純利益	8,089,261	6,666,744
非支配株主に帰属する四半期純利益	16,166	88,567
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,073,094	6,578,177

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	8,089,261	6,666,744
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△261	93,073
持分法適用会社に対する持分相当額	35,880	△4,339
為替換算調整勘定	152,180	△98,884
その他の包括利益合計	187,799	△10,149
四半期包括利益	8,277,060	6,656,594
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,247,565	6,594,363
非支配株主に係る四半期包括利益	29,494	62,231

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

自己株式の消却

当社は、平成29年10月31日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却を決議し、次のとおり実施いたしました。この結果、資本剰余金が51,180千円及び利益剰余金が1,708,288千円並びに自己株式が1,759,468千円減少しております。

- | | |
|---------------|-------------|
| ① 消却した株式の種類 | 当社普通株式 |
| ② 消却した株式の総数 | 2,250,000株 |
| ③ 消却した株式の総額 | 1,759,468千円 |
| ④ 消却後の発行済株式総数 | 92,373,600株 |
| ⑤ 消却実施日 | 平成29年11月10日 |

自己株式の処分

当社は、平成30年1月19日開催の取締役会において、当社及び当社子会社の従業員に対する譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分を決議し、次のとおり実施いたしました。この結果、資本剰余金が51,180千円増加し、自己株式が56,130千円減少しております。

- | | |
|-------------|--------------|
| ① 処分した株式の種類 | 当社普通株式 |
| ② 処分した株式の総数 | 71,780株 |
| ③ 払込金額 | 1株につき1,495円 |
| ④ 払込金額の総額 | 107,311,100円 |
| ⑤ 払込期日 | 平成30年3月20日 |

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結財務諸表計上額
	FPG	FPG証券	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,258,909	147,789	16,406,698	749,145	17,155,843	—	17,155,843
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,995	1,000	7,995	184,529	192,524	△192,524	—
計	16,265,904	148,789	16,414,693	933,674	17,348,368	△192,524	17,155,843
セグメント利益又は損失(△)	11,756,125	△53,891	11,702,234	51,586	11,753,820	△75,932	11,677,888

(注) 1. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。
2. 調整額は、すべてセグメント間取引消去によるものであります。
3. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない「FPG信託」、「FPG AMENTUM」及び「FPG RAFFLES」セグメントであります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年10月1日至平成30年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結財務諸表計上額
	FPG	FPG証券	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,936,810	154,624	15,091,434	1,373,526	16,464,961	—	16,464,961
セグメント間の内部売上高又は振替高	8,908	10,154	19,062	141,507	160,570	△160,570	—
計	14,945,718	164,778	15,110,497	1,515,034	16,625,532	△160,570	16,464,961
セグメント利益又は損失(△)	9,011,675	△51,620	8,960,055	399,784	9,359,839	66,339	9,426,179

(注) 1. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。
2. 調整額は、すべてセグメント間取引消去によるものであります。
3. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない「FPG信託」、「FPG AMENTUM」、「FPG RAFFLES」及び「FPG保険サービス」セグメントであります。